

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991800093		
法人名	社会福祉法人 寿ノ家		
事業所名	寿ノ家 グループホームみさか		
所在地	山梨県笛吹市御坂町下野原839-1		
自己評価作成日	平成28年11月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成28年11月17日(木)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

新しい事業所として1年半が経過した。法人の理念である「心をこめてひとりひとりを大切に」を全職員が心がけている。さらに、各ユニット目標をつくり取り組んでいる。グループホームの役割をみんなで話し合いながら、少人数で家庭的な環境の中、「普通の暮らし」「一人一人の生活」を大切に生活支援、ひとりひとりの持っている力を発揮して、入居者様が主体的に、また、1日1日を大切に過ごしていただけるように寄り添った支援や個別支援を心がけている。
地域密着型サービス事業所としての機能を発揮できるように、昨年8月より地域交流を目的として、サロン「縁」を毎月開催している。地域との関係づくりを積み重ね、地域に開かれた存在になれることを目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は果樹園や住宅に囲まれているが、商店や市街地に通じる広い道路に面しており、利便性の良い場所にある。建物は2階建てで、1階が小規模多機能型居宅介護と地域交流室、2階が認知症対応型のグループホームになっている。1階の地域交流室を活用して、毎月第3水曜日にサロン「縁」を開催し、地域の高齢者や子供等との交流の場を設けている。サロン開催時は、毎回看護師によるバイタルチェックを行い健康相談も受けている。又、グループホームの利用者の友人や兄弟が来所する機会にもなっている。開所後1年半ではあるが、地域との関係づくりに積極的に取り組み、利用者の主体性を尊重する支援を心掛け、家族や関係機関、地域との連携に努力している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 寿ノ家グループホームみさか

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「心をこめてひとりひとりを大切に」という法人の理念については、4月に法人内での研修会があり全職員で目標など確認している。年度の事業計画に基づいて、職員が個々に目標を立てて取り組んでいる。	「心をこめてひとりひとりを大切に」という法人の理念については、4月に法人内での研修会があり全職員で目標など確認している。年度の事業計画に基づいて、職員が個々に目標を立てて取り組んでいる。	4月に法人内の研修を実施したり、施設内の要所に理念を掲示することで全職員が共有している。事業計画に基づき、年度ごとにユニット別目標を立てたり、職員の個人目標についても上期、下期に勤務態度や業績等を評価し理念に沿った支援に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	毎月第3水曜日の午後、サロン「緑」を開催して地域の方との交流する機会を作っている。地域のお祭りのお誘いや、子供みこしが来てくださり交流をしている。近所のお店や床屋、美容院、食堂に行き話をしている。	毎月第3水曜日の午後、サロン「緑」を開催して地域の方との交流する機会を作っている。地域のお祭りのお誘いや、子供みこしが来てくださり交流をしている。近所のお店や床屋、美容院、食堂に行き話をしている。	毎月1回サロン「緑」を開催し、老人会のボランティア、笛・ピアノの演奏、工作等を通して利用者と地域住民が交流している。祭りの子ども神輿や中学生の職場体験では子供たちと交流し楽しんでいる。地域の商店や床屋、美容院、食堂に行き馴染みの関係ができています。自治会にも加入している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所内に地域交流室と認知症相談室があるので、気軽に立ち寄っていただけるように発信している。	事業所内に地域交流室と認知症相談室があるので、気軽に立ち寄っていただけるように発信している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、運営推進会議を開催して、事業内容、入居者様の活動や様子を報告している。運営推進会議のメンバーやご家族様より意見をいただいている。	2か月に1回、運営推進会議を開催して、事業内容、入居者様の活動や様子を報告している。運営推進会議のメンバーやご家族様より意見をいただいている。	2か月に1回参加者が出席しやすい午後5時から開催している。事業所からは、活動状況や職員の研修、移動、利用者の様子、ボランティア受入れ等について報告している。サロン「緑」の内容を協議したり、受診時の要望等を受け対応している。欠席した家族には会議録を送付して周知している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議には、市の長寿介護課の職員が毎回参加して下さり、相談や協力をいただける関係づくりが出来る	運営推進会議には、市の長寿介護課の職員が毎回参加して下さり、相談や協力をいただける関係づくりが出来る	運営推進会議に長寿社会課職員が出席するので、相談したり協力を得ている。介護保険の更新手続きの代行、市の事業所連絡協議会での情報交換等、担当者と連携を深め協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人に委員会があり、毎月委員会が行われている。委員会メンバーが中心となり、マニュアルに基づき職員への意識付けを行っている。また、法人の勉強会が開催される。	法人に委員会があり、毎月委員会が行われている。委員会メンバーが中心となり、マニュアルに基づき職員への意識付けを行っている。また、法人の勉強会が開催される。	法人の身体拘束委員会があり、委員が毎月出席している。会議内容をミーティングで報告したり、引き継ぎで周知している。年1回、法人の勉強会で認知症ケアの学習をしている。職員間で注意し合ったり、面接をしてスピーチロックしないケアに取り組んでいる。玄関は日中開錠し、鈴をつけて対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人に委員会があり、毎月委員会が行われている。委員会メンバーが中心となり、マニュアルに基づき職員への意識付けを行っている。また、法人の勉強会が開催される。	法人に委員会があり、毎月委員会が行われている。委員会メンバーが中心となり、マニュアルに基づき職員への意識付けを行っている。また、法人の勉強会が開催される。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修で学ぶ機会をつくり職員に伝えている。	外部研修で学ぶ機会をつくり職員に伝えている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居については、都度説明を行い理解を得ている。また、重要事情の変更があった際は説明して同意を得ている。入居時は本人にも出来る限り見学に来ていただき、ホームの様子を見ていただくようにしている。	入退居については、都度説明を行い理解を得ている。また、重要事情の変更があった際は説明して同意を得ている。入居時は本人にも出来る限り見学に来ていただき、ホームの様子を見ていただくようにしている。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 寿ノ家グループホームみさか

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期カンファレンス、ご家族様カンファレンスを定期的に行う中で、意見や要望相談を確認している。ご家族様の面会も多いので、都度話をするようにしている。また、オンブズマン制度や苦情を伝えられる連絡場所を明確にしている。	定期カンファレンス、ご家族様カンファレンスを定期的に行う中で、意見や要望相談を確認している。ご家族様の面会も多いので、都度話をするようにしている。また、オンブズマン制度や苦情を伝えられる連絡場所を明確にしている。	3か月に1回の定期カンファレンスでは、利用者の意見を管理者・看護師・担当職員、必要に応じてリハビリ担当者が聴いている。家族カンファレンスは6か月に1回実施しているが、日々の面会時に意見や要望を聴く機会がある。本人、家族からの意見、要望にはその都度対応し、支援に反映するよう努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月開催されるユニットミーティングの中で出た意見や課題は、リーダー会議にて職員の意見や提案を反映させている。 「私の希望と意見」にて代表との面接機会がある。	毎月開催されるユニットミーティングの中で出た意見や課題は、リーダー会議にて職員の意見や提案を反映させている。 「私の希望と意見」にて代表との面接機会がある。	職員が事前に書いた「私の希望と意見」を基に年1回理事長と半年に1回管理者と個別面接を実施している。ユニットミーティングで出た職員の意見はリーダー会議で反映している。「業務改善コンテスト」では、ユニット間の職員を交換して利用者や職員同士のコミュニケーションを図るという意見を業務に反映した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	上期・下期において個人目標を立て、個々に面接を行っている。	上期・下期において個人目標を立て、個々に面接を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の勉強会(全体研修とステップアップ研修)が毎月開催されている。事業所内においても勉強会を実施している。また、外部研修に行く機会をつくり、研修で学んだことを他職員にフィードバックしている。新人教育においてはプリセプターにてお互いに向上できるように取り組んでいる	法人内の勉強会(全体研修とステップアップ研修)が毎月開催されている。事業所内においても勉強会を実施している。また、外部研修に行く機会をつくり、研修で学んだことを他職員にフィードバックしている。新人教育においてはプリセプターにてお互いに向上できるように取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会の研修会に参加してネットワークづくりをしていきたい	県のグループホーム協会の研修会に参加してネットワークづくりをしていきたい		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居者ひとりひとりに担当職員をつけて、本人の思いを引き出せるように取り組んでいる。本人の言葉や表情の観察を記録に残し、職員間で情報の共有を行っている。	入居者ひとりひとりに担当職員をつけて、本人の思いを引き出せるように取り組んでいる。本人の言葉や表情の観察を記録に残し、職員間で情報の共有を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様カンファレンスを定期的に行い、意見や要望を確認している。また、面会時にもお互いに情報交換をする中で信頼関係を構築できるように努めている。	ご家族様カンファレンスを定期的に行い、意見や要望を確認している。また、面会時にもお互いに情報交換をする中で信頼関係を構築できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプランの内容は生活チェック表で毎日確認して、月の終わりにモニタリングを行い、計画作成担当を中心として定期的にケアプランの見直しを行っている。	ケアプランの内容は生活チェック表で毎日確認して、月の終わりにモニタリングを行い、計画作成担当を中心として定期的にケアプランの見直しを行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人のできることが継続できるように取り組んでいる。入居者が主体であるという事を基本に支援することに努めている。	本人のできることが継続できるように取り組んでいる。入居者が主体であるという事を基本に支援することに努めている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

寿ノ家グループホームみさか

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の面会が多く、本人と家族との絆は大切にしている。ご家族がホームに来やすい雰囲気をつくっている。家族とのコミュニケーションを大切にしながら連携を図り、ここにも家族の一員として過ごせるように支援している。	ご家族様の面会が多く、本人と家族との絆は大切にしている。ご家族がホームに来やすい雰囲気をつくっている。家族とのコミュニケーションを大切にしながら連携を図り、ここにも家族の一員として過ごせるように支援している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の意向で、近所の食堂にご飯を食べに行く事、お墓参り、馴染みの美容院や床屋に行くこと、買い物に行くこと、温泉にでかけることなどで個別に外出している。また、友人が会いに来ることもある。	本人の意向で、菜地物美容院や床屋に行くこと、買い物に行くこと、個別に外出している。また、兄弟が会いに来ることもある。	入居前の生活の様子を利用者本人、家族等の話から情報を得ている。本人の希望で地域の食堂、馴染みの床屋・美容院、買い物、温泉に行く他、家族と墓参りに行く等の機会がある。グループホームのサロン「縁」に友人や兄弟等が来てくれ、馴染みの関係が継続されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎朝、朝会を行い、ひとり一人が自己紹介を行いながら入居者同士の関係を深めている。また、食事の席を適宜調整しながら、関わりが深められるように支援している。職員が橋渡しをしている。	毎朝、朝会を行い、ひとり一人が自己紹介を行いながら入居者同士の関係を深めている。また、食事の席を適宜調整しながら、関わりが深められるように支援している。職員が橋渡しをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在なし	現在なし		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人から出た言葉や話をゆっくり丁寧に聴くことを大切にしている。本人がうまく言葉を出し出せない方にも、声掛けを多くして表情の観察をしている。職員間での情報交換を行っている。	本人から出た言葉や話をゆっくり丁寧に聴くことを大切にしている。本人がうまく言葉を出し出せない方にも、声掛けを多くして表情の観察をしている。職員間での情報交換を行っている。	本人から出た言葉や表情などから汲み取り確認している。入居時に情報を得るようにしているが、日常の会話で聞き取った事を記録し、職員間で共有している。誕生日は寿司を食べに行く、家族に会いたい時は電話する、家に帰りたい、テレビの好きな番組をビデオに撮る等希望に沿った支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族様より情報を得ている。今までできていた楽しみが継続できるように努めている。	本人やご家族様より情報を得ている。今までできていた楽しみが継続できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎月の評価やカンファレンス、ミーティング等を通じて職員間で話している。24時間の生活支援ができるように24時間シートの勉強会を行い取り組んでいる。	毎月の評価やカンファレンス、ミーティング等を通じて職員間で話している。24時間の生活支援ができるように24時間シートの勉強会を行い取り組んでいる。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、職員、計画作成担当と一緒に話し合い、看護やリハスタッフへの相談も含めた中でサービス計画を作成している。	本人、家族、職員、計画作成担当と一緒に話し合い、看護やリハスタッフへの相談も含めた中でサービス計画を作成している。	入居時に暫定で介護計画を作成し1か月後に見直しを行っている。本人・家族、職員、計画作成担当者、看護師、リハビリ担当が話し合い介護計画を作成。毎日の生活チェック表を月でまとめ、3か月に1回モニタリングしている。利用者全員が、生活リハビリテーション評価を受け必要に応じて評価を加えている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子については個別の記録に残している。また、情報共有ノートを活用して職員間で情報共有をしている。	日々の様子については個別の記録に残している。また、情報共有ノートを活用して職員間で情報共有をしている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

寿ノ家グループホームみさか

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	都度、状況に応じて柔軟な対応ができるようにご家族様との連携を図り対応している。	都度、状況に応じて柔軟な対応ができるようにご家族様との連携を図り対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居前の状況を確認しながら本人の要望を確認している。馴染みのお店に買い物に出かけたり、地域サロンを行う中で地域とのつながりを大切にしている。 笛吹市いきいきサポーターの囲碁のボランティアさんが毎週水曜日に来て下さる	入居前の状況を確認しながら本人の要望を確認している。馴染みのお店に買い物に出かけたり、地域サロンを行う中で地域とのつながりを大切にしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	近くに医療連携ができる協力診療所がある。定期受診時にはご家族様との情報を確認している。こちらで受診対応をしている方については、必要に応じてご家族様と主治医の面接が行えるように連携を図り、緊急時の対応については話し合いをしている。	近くに医療連携ができる協力診療所がある。定期受診時にはご家族様との情報を確認している。こちらで受診対応をしている方については、必要に応じてご家族様と主治医の面接が行えるように連携を図り、緊急時の対応については話し合いをしている。	入居前からのかかりつけ医6名は家族同行の受診をしているが、不可能な時には職員が代行するようにしている。他の利用者は協力医をかかりつけ医として職員の支援で受診している。医療連携シートを使い、受診時の共有をしている。又、毎週金曜日に口腔ケアの歯科往診がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回、訪問看護による健康チェックがある。また、何かあればすぐに相談ができる体制がある。	週1回、訪問看護による健康チェックがある。また、何かあればすぐに相談ができる体制がある。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には病院のソーシャルワーカーとのやり取りを御粉ついている。退院に向けてはカンファレンスやサマリー等をいただき情報を交換を行っている。	入退院時には病院のソーシャルワーカーとのやり取りを御粉ついている。退院に向けてはカンファレンスやサマリー等をいただき情報を交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りの指針をお伝えしている。現在、急変時、看取りの御威光確認書を再度確認している。その時期に入るときにご意向確認を行うこととしている。	入居時に看取りの指針をお伝えしている。現在、急変時、看取りの御威光確認書を再度確認している。その時期に入るときにご意向確認を行うこととしている。	入居時に看取りの指針を説明し、希望に応じて看取りの意向確認書を作成している。現在、利用者一人ひとりの、意向確認書の見直しを行っている。毎週金曜日に法人の看護師による健康チェックがあり、変化あればその都度関係者と協議している。法人に看取り委員会があり勉強会を実施している。事業所独自の看取りマニュアルを作成中である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生対応については、法人内に委員会が設置しておりマニュアルがある。また、勉強会で学ぶ機会が設けられている。緊急時の対応については、連絡体制を作っている。事業所内にAEDが設置されており、使い方の勉強会を行っている。	事故発生対応については、法人内に委員会が設置しておりマニュアルがある。また、勉強会で学ぶ機会が設けられている。緊急時の対応については、連絡体制を作っている。事業所内にAEDが設置されており、使い方の勉強会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人内に委員会が設置されている。事業所内の火災訓練は年2回行い対策の取り組みをしている。火災・地震・水害・雪害等においては地域の消防団との連携を作っていく予定である。	法人内に委員会が設置されている。事業所内の火災訓練は年2回行い対策の取り組みをしている。火災・地震・水害・雪害等においては地域の消防団との連携を作っていく予定である。	法人内に大規模災害委員会があるが、事業所用に独自のマニュアルを作成する予定。年2回(10月は夜間、2月は日中想定)火災想定避難訓練を実施している。各居室に利用者用の防災頭巾が設置され、備蓄もあり災害時の避難指定所になっている。今後も職員の訓練経験や、地域消防団との連携を強化していく。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員に介護の基本姿勢とグループホームの倫理要綱を確認してもらっている。基本姿勢にある利用者の8大権利の中において、プライバシー保護については明確化されている。	全職員に介護の基本姿勢とグループホームの倫理要綱を確認してもらっている。基本姿勢にある利用者の8大権利の中において、プライバシー保護については明確化されている。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

寿ノ家グループホームみさか

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎朝の朝会において、ひとり一人の本日の予定を確認している。本人から言葉が表出できるようにしている。また、何かするときは、必ず本人に確認している。	ひとり一人の思いや希望を確認している。本人からの言葉が表出できるように声掛けを多くしている。また、何かするときは、必ず本人に確認している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎朝の朝会において、ひとり一人の本日の予定を確認している。本人から言葉が表出できるようにしている。また、外出の要望にはできる限り添えるように支援している。	本人の言葉より思いを確認している。本人からの言葉が抽出できるように声掛けを多くしている。外出の要望には出来る限り添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に馴染みの美容院や床屋に出かけている。入浴は毎日入れるようになっていたので、入りたいときには入れる体制がある。着替えについては本人に選んでいただくようにしている。	定期的に馴染みの美容院や床屋に出かけている。入浴は毎日入れるようになっていたので、入りたいときには入れる体制がある。着替えについては本人に選んでいただくようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や片づけは、職員と話をしながら一緒に行うようにしている。食べたいものや好みの食材を聞き献立に入れている。毎週パン屋さんが来るのが楽しみとなっている。	食事の準備や片づけは、職員と話をしながら一緒に行うようにしている。食べたいものや好みの食材を聞き献立に入れている。毎週パン屋さんが来るのが楽しみとなっている。	食事の準備や片付けを職員と一緒にし、職員も一緒に食事をしている。食事の好みを聴いて、苦手なものは代替の品にしている。個別でラーメン、寿司、うどん等を外食することもある。おやつは手作りしたり、毎週パン屋さんが来るのを楽しみにして、自分で購入しておやつや主食にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材のカロリーやバランスにおいては、献立表に記載がある。食事量や水分量については個々のチェック表に記入して毎日確認している。	食材のカロリーやバランスにおいては、献立表に記載がある。食事量や水分量については個々のチェック表に記入して毎日確認している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアができるように、個々に合わせて支援している。現在、衛生士による口腔ケア指導を受けているので今後は、より口腔ケアに力を入れていく。	毎食後に口腔ケアができるように、個々に合わせて支援している。現在、衛生士による口腔ケア指導を受けているので今後は、より口腔ケアに力を入れていく。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて個々の状態を把握しながら排泄のパターンを確認して声掛けをしている。また、本人の言葉やサインをみてトイレに誘導している。排泄物品については都度検討をしている。	排泄チェック表にて個々の状態を把握しながら排泄のパターンを確認して声掛けをしている。また、本人の言葉やサインをみてトイレに誘導している。排泄物品については都度検討をしている。	排泄チェック表を使用し利用者の排泄パターンを把握している。布パンツやリハビリパンツを使用している利用者で居室にトイレがあり使い慣れた場所で周囲に気を使うことなく排泄できるよう支援している。退院後、おむつを使用していた利用者も自立にむけてトイレで排泄できるよう支援しリハビリパンツに変わった。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて個々の状態を確認している。看護師や主治医に相談して支持をいただいている。毎日の体操で体を動かしたり、食べ物や飲み物を工夫している。	排泄チェック表にて個々の状態を確認している。看護師や主治医に相談して支持をいただいている。毎日の体操で体を動かしたり、食べ物や飲み物を工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日の入浴は可能であるので希望に添えるようにしている。また、入浴の際は本人に必ず確認している。個々の状態に応じて、清拭を行っている。	毎日の入浴は可能であるので希望に添えるようにしている。また、入浴の際は本人に必ず確認している。個々の状態に応じて、清拭や足浴を行っている。	基本は週2~3回であるが、毎日入浴が可能で希望に浴えるようにしている。入浴できない場合は清拭している。入浴するかどうかはその都度確認している。季節のゆず湯や足湯、リフト浴もでき、入浴後の保湿剤は各自好みの物を使用している。2か所のうち1か所がバブクリの浴槽で好みにより入浴している。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名

寿ノ家グループホームみさか

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(小春(こはる))	ユニット名(日和(ひより))	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の24時間の状況を確認しながら休息して頂くようにしている。朝起きる時間や夜寝る時間は個々に合わせている。夜間の部屋の明るさについても本人の意向や状態に合わせて調整している。	一人一人の24時間の状況を確認しながら休息して頂くようにしている。朝起きる時間や夜寝る時間は個々に合わせている。夜間の部屋の明るさについても本人の意向や状態に合わせて調整している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬などの薬は管理をしている。個人ファイルに処方内容がファイルされているので都度確認が出来るようになっている。体調観察は毎日行っている。	内服薬などの薬は管理をしている。個人ファイルに処方内容がファイルされているので都度確認が出来るようになっている。体調観察は毎日行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の今までしてきた得意なことや出来ることが継続できるように担当職員を中心として見出している。外に出かける機会を多くして気分転換ができるようにしている。また、季節の行事や外出をしている。	本人の今までしてきた得意なことや出来ることが継続できるように担当職員を中心として見出している。外に出かける機会を多くして気分転換ができるようにしている。また、季節の行事や外出をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に添えるように支援している。本人の要望はご家族様に伝え、こちらでの対応が出来ない場合にはご家族様の協力をお願いしている。	希望に添えるように支援している。本人の要望はご家族様に伝え、こちらでの対応が出来ない場合にはご家族様の協力をお願いしている。	年間行事は、イチゴ狩り、紅葉見物、夏祭り、イベント等があり利用者が計画的に外出するが、日常的な買い物や床屋、散歩等利用者からの要望があればその日に実現している。また、外食には職員が付き添い、自宅に帰りたい場合は家族が付き添って外出している。家族の希望があれば職員が同行することもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買いたいものがあるときは個々の意向に沿い支払いの支援をしている。本人が財布を持っている方もいる。個人の預り金は出納帳で管理してご家族様に報告している。	買いたいものがあるときは個々の意向に沿い支払いの支援をしている。本人が財布を持っている方もいる。個人の預り金は出納帳で管理してご家族様に報告している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいとの要望時は都度対応、支援している。本人の思いを書き留めておきご家族様に見せている。	電話をかけたいとの要望時は都度対応、支援している。本人の思いを書き留めておきご家族様に見せている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間については、温度調整や光の調整を皆さんに確認しながら行っている。テレビの音や職員の声の大きさにも気を付けて居心地良く過ごせるように配慮している。	共有空間については、温度調整や光の調整を皆さんに確認しながら行っている。その時の状況に応じて音楽を流している。テレビの音や職員の声の大きさにも気を付けて居心地良く過ごせるように配慮している	ユニットごとに行き来ができるので、スペースを活用しやすい。食堂兼居間は窓が広いので景観がよく、テーブルも必要に応じて変形できる。廊下の突き当たりにはソファを置き、ゆったりした空間を作っている。壁面はあえて装飾せずシンプルであるが、季節の展示で利用者の目を楽しませている。1階交流室の壁面にサロンで制作した作品や職員紹介の写真を掲示してある。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	安心して座れる場所を確認している。テーブルの位置や座る場所は本人の気持ちを尊重して工夫している。	安心して座れる場所を確認している。テーブルの位置や座る場所は本人の気持ちを尊重して工夫している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んでいただくように依頼している。本人が安心して居室で過ごせるように、本人、ご家族様と相談しながら工夫している。	入居時には使い慣れたものや馴染みのあるものを持ち込んでいただくように依頼している。本人が安心して居室で過ごせるように、本人、ご家族様と相談しながら工夫している。	居室にはベッド・トイレ・洗面台・エアコン・カーテンが備え付けてあるが、本人や家族と相談して必要に応じて、テレビ・テーブル・タンス・仏壇・家族写真・絨毯・こたつ等が備えてある。クローゼットを付けないので室内が広く、トイレも車いす対応ができるスペースがある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人の「できること」に着眼点を置いている。できることシートを作成しながら、「できること」を見出して「できること」が継続できるように見守りや声掛けにて支援している。	本人の「できること」に着眼点を置いている。できることシートを作成しながら、「できること」を見出して「できること」が継続できるように見守りや声掛けにて支援している。		